

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023年10月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区横大路芝生24-3	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 創味食品 代表取締役 山田 佑樹
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	エネルギー管理システム（独自のシステム）
適 用 範 囲	株式会社 創味食品（丹波工場）
導 入 年 月 日	2023年11月1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	創味食品丹波工場が環境に与える影響を考慮し、環境負荷低減を目指し業務内容の改善を推進することによって、環境改善に貢献できる取組みを実施する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①水・電気・重油使用量削減：2022年度を基準年度として原単位（生産量）あたりで2025年度3%削減を目指す。 ②廃棄物（廃プラスチック類）削減：2022年度を基準年度として原単位（生産量）あたりで2025年度3%削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー対策 (1) 老朽設備の高効率設備への更新 (2) エネルギーロスの把握・改善 廃棄物削減対策 (1) 廃棄物の適正分別の取り組み (2) リサイクルによる廃棄物削減
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー対策 (1) 丹波工場電灯LED更新・保安電力削減 (2) 天井裏蒸気配管見回り・修理実施 (3) ホース水・冷却水の削減 廃棄物削減対策 (1) 廃棄物分別表作成・周知 (2) アルミ箔付き紙パックのリサイクル開始
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	省エネルギー対策 (1) 丹波第2工場LED化を2023年10月実施予定。排水処理プロロ運転見直し。 (2) 天井裏蒸気配管漏れの早期発見・修理実施を進め、全体の配管更新も検討する。 (3) ホース水削減への周知・見回り・呼びかけ実施。 廃棄物削減対策 (1) 適正分別により混合廃棄物が2022年度比2023年度で30%削減されました。 (2) 今まで廃プラスチックゴミとして焼却処分していたアルミ箔付き紙パックをリサイクルすることができています。（2022年12月～2023年8月：3,180kg）
事業活動に係る法令の遵守の状況	当工場に対して、違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	生産本部工務部署を主体に、2023年度より「工安委員会」を用いて、取り組みの報告、評価、見直しを進めていく。事業活動に係る法令については環境関連法規、条例等を整理し「丹波工場環境関連法規対応一覧」の作成を進める。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。